

## 人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

研究課題名	小児における溶連菌咽頭炎後の定期尿検査の有用性についての検討
所属科	小児科
研究責任者	高橋 匡輝
研究期間	平成 31 年 1 月 1 日から平成 33 年 12 月 31 日 (予定)
研究概要	<p>○ 目的</p> <p>溶連菌感染後急性糸球体腎炎 (PSAGN) は小児では年間 10 万人当たり 6 人、溶連菌感染後の 5-10% 程度の患者に発症するとされている。溶連菌感染の診断後、PSAGN の早期発見を目的とした一定の期間をおいての尿検査は、本邦では一般小児科の慣例として実施されていることが多い。しかし、その有用性に関する明確なエビデンスは存在していない。本研究では、小児における溶連菌咽頭炎後の定期尿検査の有用性について評価を行うために、多施設共同の前方視的観察研究を計画した。</p> <p>○ 対象</p> <p>当院及び協力施設を受診し、溶連菌咽頭炎と診断された全ての小児患者 (16 歳未満)</p> <p>○ 方法</p> <p>匿名化後の臨床データについて統計的解析を行う</p> <p>○ 利用する項目</p> <p>年齢、性別、体重、尿検査、血液検査など</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について	<p>研究の実施においては患者氏名を研究症例番号により匿名化し、患者個人情報の機密保護について十分な配慮を行う。また、観察研究であるため、この研究に参加することにより患者に利益または不利益は生じない。データは院内 LAN に保管し、紙資料は鍵のかかるロッカーに施錠して保管する。研究終了後にはデータをすべて削除し、紙資料はシュレッダー処理する。</p>
臨床研究登録の有無	<input type="checkbox"/> 無・有 (臨床研究登録番号: )
研究の問い合わせ先	東京都立墨東病院 小児科 高橋 匡輝、大森 多恵 (03)3633-6151(代)
結果の公表について	現時点では未定である。
利益相反について	本研究において、報告すべき利益相反は存在しない。